

KSKP



とく てい ひ え い り か つ どう ほ う じ ん

特定非営利活動法人 リアライズ

リアルライフNEWS

vol.4

1984年8月20日第三種郵便承認
毎日発行

こんかい つうしん みつい かんこく とくしゅう
今回の通信は三井の韓国デビューを特集します！

かんこく で あ った た く さ ん の な か ま ち だ ら
韓国で出会ったたくさんの仲間たちに力をもらいました！！

☆☆☆ であ の 1 つ 1 つ が リアライズの おお ち だ ら
大きな力になっています ☆☆☆



うし た ひと めい しょうがいとうじしゃ
※ 後ろで立っている人の3名は障害当事者ナンです☆

とくしゅう そ

特集 其の1

みつい たかお やまもと ひろし

三井孝夫と山本啓司が

韓国^{かんこく}の仲間たちと出会ったあ!!

みなさんこんにちは! ミッチーこと三井^{みつい}です☆

設立^{せつりつ}集會^{しゅうかい}を2週間^{しゅうかん}後に控^{ひか}えた、忘れ^{わす}もしない9月^{がつ}2日^{にち}、そう! 障大連^{しょうだいれん}のオールラウンド^{こうしやう}交渉^{こうしやう} (自立^{じりつ}支援^{しえん}、介護^{かいご}、施設^{しせつ}部会^{ぶかい}など各項目^{かくこうむく}ごとに大阪府^{おおさか}と交渉^{こうしやう}する場^ば) の最中^{さいちゆう}の出来事^{できごと}でした。

一本^{いっぽん}の転送^{てんそう}電話^{でんわ}が入^{はい}り、「あ!! 音切^{おとぎ}ってない!!」と、緊迫^{きんぱく}した交渉^{こうしやう}の場^ばに切ないバラード^{ばらーど} が響^{ひび}き渡^{わた}り…慌^{あわ}てて外^{そと}に出^でてホッ^ほと一息^{ひといき}。そう、この物語^{ものがたり}はその一本^{いっぽん}の電話^{でんわ}から始^{はじ}まった…。

■ 謎^{なぞ}の男^{おとこ}からの電話^{でんわ}～韓国^{かんこく}までの道^{みち}のり

三井^{みつい}: 「もしもし、三井^{みつい}です」

?? : 「ア～、ミツイさ～ん! コンニチワ～。オヒサシブリデス。」

と聞きなれぬ声^{こゑ}と、発音^{はつおん}。

三井^{みつい}: 「どちら様^{さま}ですか??」 李^りさん??・・・あ! ピア大阪^{おおさか}に見学^{けんがく}に
来^こられた李^りさんだ!!

三井^{みつい}: 「お久しぶり^{ひさ}です! お元気^{げんき}ですかあ! ?」

李^り: 「元気^{げんき}ですヨ! 今日^{けふ}は三井^{みつい}さんにお願^{ねが}いがあつて…」

あ、きつといつものように、見学^{けんがく}の対^{たい}応^{おう}の依^い頼^{らい}だなあ。いや、俺^{おれ}はも
うピア大阪^{おおさか}じゃないし、それにリアライズ^{りあらいず}の番^{ばん}号^{ごう}を知^しっているってことはピア大阪^{おおさか}から聞^きいているはず。

三井^{みつい}: 「何^{なに}でしょう?? もうピア大阪^{おおさか}を辞^やめたので見学^{けんがく}なら…」

李^り: 「見学^{けんがく}ではないんですよ。講^{こう}演^{えん}のお願^{ねが}いなんですよ!」

三井^{みつい}: 「あ、講^{こう}演^{えん}ですかあ。また、大阪^{おおさか}に來^こられるんですね。」

李^り: 「いや、違^{ちが}うんです。三井^{みつい}さんに韓国^{かんこく}に來^きて欲^{ほし}しいんですよ!! 韓国^{かんこく}の大田^{だいぜん}市^し(テジュン)の自^じ立^{りつ}生^{せい}活^{かつ}
センタ-と協^{きやう}力^{りき}して、シンプ^{しんぷ}ジウム^{じうむ}をするんですよ。」

三井^{みつい}: 「韓国^{かんこく}ですか。か、か、韓国^{かんこく}ですか!!! ???」

つということで・・・11月^{がつ}の中^{ちゆう}旬^{じゆん}、2泊^{はく}3日^かで生^うまれて初^{はじ}めての海^{かい}外^{がい}、韓国^{かんこく}に行^いって参^{まい}りました。

そうと決^きまればまず準^{じゆん}備^びです! パスポートの申^{しん}請^{せい}からス^すタ-ト☆

写^{しゃ}真^{しん}・戸^こ籍^{せき}謄^{とう}本^{ぽん}・免^{めん}許^{きょ}証^{しやう} (本^{ほん}人^{にん}確^{かく}認^{にん}できる書^{しよ}類^{るい})・郵^{ゆう}便^{びん}ハガキ (パスポートの完^{かん}成^{せい}を知らせるための白^{はく}紙^しの
ハガキに自^じ宅^{たく}住^{じゆう}所^{しょ}を書^かいたもの)を持^もって行^いったのですが、写^{しゃ}真^{しん}が髭^{ひげ}面^{めん}だったため、受^う付^{つけ}のお姉^{ねえ}さんにかい
に行^いかれる時^{とき}は、髭^{ひげ}を生^はやしておいてくださいね。空^{くう}港^{こう}で本^{ほん}人^{にん}認^{にん}証^{しやう}されな^い可^か能^{のう}性^{せい}がありますので。」といわ



れました。そんなに厳しいのか！！とビックリ。飛行機だけでなく空港まで嫌いになりそうでした。

次に、韓国の仁川(インチョン)までの、航空チケットを買いに行きました。そこで、びっくり！海外行きは障害者割引がないことを知りました。(今頃気づくとは…まだまだ若輩者です。)

僕は日本の航空会社を選んだため、燃油サーチャージが引き下げられる前だったのもあり、チケットは2名で約100,000円！！(旅費は先方が払ってくれました(笑))

そして、渡航日・・・覚悟を決めて、いざ出発！！ついに離陸しました☆飛んでしまえば、諦めもつくというもので。離陸してからは、韓国での仲間たちとの出会いに胸をトキめかせ・・・。

■ 韓国到着 ～仲間たちとの出会い～



離陸から2時間…仁川(インチョン)空港に到着！！ゲートを通過しようとしたその時、「ナン・・・Oチャ☆※■▽◎×…(パスポートを見せてください)」と。まったく、言葉がわからない！！

いやあ、韓国にやってきたんだなあっと実感した瞬間でもありません。そして、何もしていないのに、一皮剥けた気分になり、ロビーに出ると・・・「三井孝夫氏 いらっしやいませ！！」と書かれたプラカードを持った車椅子のダンディーな人物を発見！！その

男こそ、韓国大田市(テジュン)の障害者リーダー、韓国肢体障害人協会大田西区支会長の南 仁洙(ナム・インス)さん、そしてその横に、我々が救世主、通訳を担当してくれる学生の申在範(シン・ジェボム)くん。そして、車まで移動すると、そこには「ハンバツ自立生活センター」のピアカウンセラーである李恩珠(イ・オンス)さんが運転手としてスタンバイしてくれていました。この3人に出迎えていただき、韓国の障害者運動の2泊3日の旅が始まりました。

空港のあるインチョンから、目的地のテジュンまでは車で3時間。車の中で、自己紹介や、韓流ドラマトークや日本ドラマトーク、そして少し障害者運動の現状などを話しながら、和気あいあいな雰囲気の中で旅路を楽しみました。

韓国の道路は都心部でも日本より造りが荒いように感じました。そう、揺れが激しいため、骨形の三井にとってはハードな時間を過ごしました。慣れない海外に少し疲れ、眠りについていて・・・。「三井サン！晩御飯は何を食べたいですか？」との質問。「焼き肉が食べたいです！！」と即答(笑)

そして、初日は、ハンバツ自立生活センターの近くにある、豚の三枚肉の焼き肉をご馳走になりました！(詳細はのちほど山本編で)そして、焼き肉を食べているその時！！今回、韓国に私たちを招いてくださった“WOOSONG TECHNICAL COLLEGE”の李教授(リーさん)が登場！！久々の再開に心が躍りました☆そして、肉、酒、会話をたのしみ、リーさんが予約してくれていた軍の保養所として使われている温泉ホテルに移動。想像していたよりも立派

たてももの すこ こうきゆう かん
な建物で、少し高級な感じがしました。

そこで、リーさんから翌日の打ち合わせを兼ねて、スカイラウンジでフルーツでもいかがですかあ？と誘っていた
き、ピアノやギターの演奏を聴きながら、オシャレなバーで打ち合わせをしました。

かんこく しょうがいしゃうんどう
■ 韓国の障害者運動

こうえんとうじつ くるま なか ひと ぎもん こんかい
講演当日の車の中で…一つ疑問が。今回の
こうえん じりつせいかつ
講演はハンバツ自立生活センターのシンポジウム
にほん しょうがいしゃうんどう そうだんしえんじぎょう かいじょはけん
で、日本の障害者運動、相談支援事業、介助派遣
について話してほしいとしか聞いてないことに気付
いたのです。

ぐたいてき しゆさい きほ
具体的にどなたとかが主催し、規模がどのくら
いなのかハッキリわからなかった。聞いてみると、
じぎょう じりつせいかつ
大田市(テジュン)の事業をハンバツ自立生活セン
ターが委託を受けて企画し、パネラーは韓国の
いたく う きかく かんこく
障害者運動のリーダーである、ソウル自立生活セ
ンターのパク・チャノさんをはじめ、韓国の
しょうがいしゃふくしせんもん だいがくきょうじゆすうめい
障害者福祉専門の大学教授数名であることが
わかりました。いちじりつせいかつ
いち自立生活センターのセミナーだ
おも みついで そんなメンバーの中で話すな
んて…と緊張が高まる中、飛行機の緊張に比べ
れば…と言ひ聞かせ、いざ本番へ！！映画館のよう
なホールに続々と人が集まってくる中、ロビーで
かんこく がくせい
韓国の学生たちがミルクコーヒーサービスをして
いて、そのコーヒーがちよっとした休息をくれま
した。

さいしょ みついで にほん しょうがいしゃじりつしえんほう
まず、最初に三井が日本の障害者自立支援法に
そうだんしえんじぎょう かいじょ
おける相談支援事業と介助サービスについての報
告を行い、続いて、韓国のパネラーたちが報告を

ざんねん ことば かべ ほうこく
しました。残念ながら、言葉の壁があり…報告の
ないよう わ
内容がハッキリとわからなかったですが、できる限
りの報告をします。(一部、内容が違う場合がありますが、ご了承承
りょうしょう
ください。)

かんこく じりつせいかつ ねん じりつせいかつ
韓国の自立生活センターは、2003年に自立生活



センターのモデ
ル事業として、ソ
ウル市からの
ほじょきん ぼきん
補助金や募金な
どを活用しなが
らピアカウンセ

リングなどの相談や介助サービスを独自に行っ
てきた。

ご ねん がつ くに ほじょきんじぎょう
その後、2005年7月に国の補助金事業として
せいどか じりつ せいかつ よきん
制度化され、自立生活センターの予算は
15,000,000 ウォン(約1億5千万円)となった。し
かし、その予算の1/3以上を介助派遣に使わな
ければならないと国が定めたため、50,000,000 (500
まんえん いじょう かいじょはけん じぎょう そうだん
万円)以上は介助派遣事業、相談については
100,000,000 ウォン(1000万円)以下となった。さ
らに、ソウル市では、かいじょはけん
介助派遣を80,000,000 ウ
ォン(8000万円)以上行うこととなったため、相談
ぶぶん あつぱく ちゅうい ひつよう
の部分により圧迫した。ここで、注意が必要なのは、

支給決定、コーディネート、ヘルパー賃金を含んだ経費を含めた予算を自立生活センターへ丸投げしているということである。いわば、自立生活センターが行政のような機能を持ち、年間の予算の中で障害者に対して支給決定する必要があったため、センターに関わりのある一部の障害者にしか、支給決定されなかったのである。そのため、支給決定を受けることができない当事者から、自立生活センターへの不満が出ることもあった。その結果、運動の成果があり、2007年5月より、介助サービスが制度化され30時間/月から上限80時間/月まで利用が出来るようになった。そして、2008年4月より時間獲得の運動の結果、上限120時間/月になり、120時間で足りない場合については、180時間まで支給決定される場合も出てくるようになった。介助サービスが制度化された2007年からは支給決定を行政が行い、介助派遣は引き続き自立生活センターが行い、日本と同じように1時間あたり単価8,000ウォン(約800円)が報酬として国から支払われることとなった。また、介助派遣とは別に自立生活センターの運営に対する国の補助金額は1億5千万ウォン(約1,500万円)が下り、自立生活センターでも限られた数か所に対してだけ補助がある。しかし、8,000ウォンの内75%以上をヘルパーの賃金として払うことが定められており、最低6,000ウォン(約600円)はヘルパーに、事業所には2,000ウォン(約200円)の収入にしかならず、運営が非常に厳しい状態である。また、ヘルパーの資格を取得するために30日間の研修が

あるが、障害者リーダーが少ないということもあり、当事者主体の価値観が当事者自身に浸透していないため、研修だけでヘルパーの質を向上させることには限界があり、家政婦的な関係になってしまっていることが多い。

また、驚いた話だが、施設入所する(させられる)ための条件に生活保護であるという条件があるため、家族介護が当たり前といった問題点はあるにせよ、地域で家族と同居している障害者が圧倒的に多い。しかしながら、家族が生きると生活保護を受給することができないといったように生活保護のハードルが高く、年金などの所得補償制度がないため、家族と同居しつづけるか、就労による経済的自立ができる障害者以外は自立生活を送ることが極めて困難な状況である。

全体的な課題としては、まず、所得補償制度の確立、自立生活運動のリーダーの育成、介助者の質の向上、単価問題など、多くの課題が山積している。

今回の韓国での経験や出会いによって、とても大きなパワーをもらうことが出来ました。海外の障害者も自分たちと同じように、障害者があるのまま、誇りを持ち、自分の人生の主人公として生きることの出来る社会を目指し運動していること。そして、三井、山本を本当の仲間のように歓迎してくれたことなど、一生、心から消えることのない貴重な出会いができたことを、李さんはじめ、韓国の仲間たちに感謝します。

やまもと かんこくまんぷくき
■ 山本ヒロシの韓国満腹記

三井の韓国でのシンポジウム参加の付き添いとして、金魚のフンのようについていきました。韓国が故郷である川本から韓国語での自己紹介だけを習得し、韓国訪問に備えました。

出発当日、関西国際空港に着き、飛行機の到着を待っていました。待合室で座っていると隣で、ガクガク震える“ちっちゃいオッサン”が…。

そうなんです！我がリアライズ隊長である三井は、大の飛行機嫌いなんです。三井曰く、「あんな鉄の塊が空を飛ぶなんて物理的に考えられない！」

だそうです。予定搭乗時刻が近づいてきたその時、「飛行機の準備が遅れているため、搭乗時刻が少々遅れます。」とのアナウンスが待合室に響き

渡りました。その瞬間、三井の顔は真っ青。僕は、いつも強気な三井が恐怖感に怯えている姿が面白く見えました（笑）そして、僕のいたずら心に火が点き、不安そうに「なんかあったのかなあ？大丈夫やろか？飛行機の調子悪いのかなあ？」と、聞くと…。「おまえしゃべりかけるな！どつくぞ！」

と怒鳴られました
 (笑)

さて、出発の話はそれぐらいにして…



飛行機は無事、仁川（インチョン）空港に着きました。出迎えてくれたのは、ハンバツ自立生活センターの南さん、李さん、通訳の申さん。迎えに来てくれた車に乗り、走ることで、3時間。日も暮れ、大田市の繁華街に到着しました。車を降り、案内して

くれたのは、焼肉店らしき場所。そうです！韓国名物、サムギョプサル！僕はこれが食べたかった！豚焼き肉とキムチを頂き、韓国風の乾杯（後ろを向いて）で盛り上がり、皆さんの大いなる歓迎にお腹も心も満たされ、幸せでした☆



それからというもの、滞在期間中、ご飯時になると、毎回御用達のお店に連れて行ってもらい、

サムゲタンなどの韓国料理をお腹一杯いただきました。帰国前夜は、自立生活センターのスタッフ全員が集まり、送別会をしてくれました。顔を合わせただけ、話したことないスタッフもたくさんいましたが、スタッフ全員が揃って自分たちを迎えてくださいました。まるで、自分たちと長年の友達かのように。スタッフみんなが自分たちと韓国語はほとんど分からなかったけれども、どうしてか、とても楽しい雰囲気にもまれ、笑いあったり、抱き合ったり…素敵な時間を過ごしました。

ひとりのつながり、その温かさが、韓国の寒空に映

えました。またいつかテジュンの仲間たちとお会いしたいと思います。



おまけ

三井は行きめの飛行機が安定した飛行をしたため、帰りの飛行機では、あまり怖がらなく、おもしろくありませんでした（笑）

だい かい けん しゅう かい ほう こく 第6回リスペクト研修会報告

ぜんかい けんしゅうかい つづ ぜんかいじよぎ じたいけん
 前回の研修会に続いて、全介助疑似体験パ
 ート2をしました。今回は買い物介助、食事介助、
 はいせつかいじよ かいじよ つか おこな
 排泄介助など、すべてのことに介助を使って行い
 ました。



り くみ
 まず2人1組になって、
 どうじしゃやく かいじよしゃやく き
 当事者役、介助者役を決め、
 どうじしゃやく くるま の てあし こてい
 当事者役には、車イスに乗って手足を固定してもらい、

か かね わた か ものかいじよ
 買ってくるメニューとお金を渡し、買い物介助へ！

ながせ どう やまもと かい ぜんかいじよ たいけん
 長瀬(当)&山本(介)ペアも全介助を体験し

ながら、みんなの様子を見に行きました。当事者役、

かいじよしゃやく
 介助者役、それぞれコミュニケーションをとりなが

ら、うまくやっているようでした。僕がみんなの様子

み しゃしん むちゆう
 を見たり、写真をとっているのに夢中になっている

とき ながせ ひとり しょうひん なが
 時、長瀬は一人ポツと、商品を眺めていました

ひとり おざ ふか はんせい
 …一人置き去りにしてしまったことに深く反省。

すこ いとてき
 (少し意図的でしたが…)



か もの
 そうこうして、買い物から

かえ ひる したく
 帰ってきて、昼ごはんの支度

はじ どうじしゃやく
 を始めました。当事者役の

しじ もと かいじよしゃ
 指示に基づいて介助者が

ほうちよう にぎ
 包丁を握り、ザックザック

き どうじしゃやく ひとり かいじよしゃ
 と切っていきました。当事者役の一人から『介助者

しよくざい き こうどう とき
 が食材を切ったり、なにか行動をとっている時、

はな か の もの の べつ
 「鼻を掻いてほしい」「飲み物が飲みたい」などの別

しじ だ いけん
 の指示を出しにくい。』という意見がありました。

じっさい ぼく どうじしゃやく とき み
 実際に、僕も当事者役の時は、「ワガママ」と見ら

れないか、「さっきの指示をこなしてるのに。」と思わ

れないか…。そんな感情を持たせないためには、

かいじよしゃ いま どうじしゃ せいかつ いちぶ
 介助者が今やっていることは当事者の生活の一部

であり、当事者のペースに合わせる事が基本だと

にんしき たいせつ おも
 認識しておくことが大切だと思います。

ちょうり したじゆんび お しょくじかいじよ はじ
 調理の下準備が終わり、食事介助の始まりです。

ゆうしょく タコヤキ
 夕食はTAKOYAKI



です！これがなかなかみんな

くせん ざいりよう き
 苦戦！材料をたこ焼き器に

なが こ くし かえ
 流し込み、串でひっくり返すも、うまくいかず、さ

らに焦って、時間もどんどんかかっていく。そうし

ているうちに、他のたこ焼きは、焦げていく。その

かいじよしゃ しじ だ
 介助者に指示を出した当事者役は、「こんなことぐ

らいできるやろ！」といわんばかりの怒りの表

じよう じぶん しじ つた じぶん おも
 情！自分の指示がちゃんと伝わらない、自分の思

い通りに介助者は動けないなどの苛立ちがありま

した。介助者は料理人ではなくても、ある程度の

りょうり つく ひつよう おも じぶん
 料理を作るスキルが必要だと思います。「自分がや

れば、こんなことにならないのに…。」そんな気持ち

が、当事者役たちの胸を熱くさせました。



きも いちばんつよ
 そんな気持ちが一番強

かった当事者役が、介

じよしゃやく か
 助者役に変わり、「よし

っ！たこ焼き焼ける

ぞ！」っと気合十分でしたが、その人もたこ焼き焦

がしていました(笑)

とく しゅう そ
特集 其の2
 まつのはまえき

あば ぼうしょうく ん だい だん
暴れん坊将Kunプロデュース第4弾☆

じょうほう
松ノ浜駅バリアフリー情報!!

あば ぼうしょうく ん かわもと こんかい なんかいほんせんいずみおおつえき きたすけまつえき
 こんにちは、暴れん坊将Kunこと川本です！今回は、南海本線泉大津駅と北助松駅の
 あいだ まつのはまえき しょうかい
 間にある松ノ浜駅を紹介しします。

まつのはまえき ぼうめん いずみおおつ おな こうかえき わかやまほうめん こうがい
 松ノ浜駅は、なんば方面は泉大津と同じく高架駅となっており、和歌山方面は構外からホームまでをス
 ロープで移動することができます。また、北助松駅と同じく駅員が一人しか常駐しておらず、時間帯に
 よってなんば・和歌山方面の改札口のいずれか一方は駅員がいない状態になっています。この場合はイ
 ンターホンで呼び出さなければなりません。それでは現状や今後の取り組みなどを紹介したいと思います。



わかやまほうめんがわ げんかん
 和歌山方面側の玄関
 の写真です。
 こうがい こうない
 構外から構内にか
 けて、段差はなくフラッ
 トです。



なんば ほうめんがわ
 方面側の
 玄関の写真です。
 こうがい こうない
 構外から構内にか
 けてはスロープを使
 って移動します。

かいさつしゅうへん
改札周辺

項目	わかやまほうめん 和歌山方面	なんば ほうめん 方面
けんばいき 券売機のボタンの点字	あり	無し
ゆか けんばいき たか 床から券売機までの高さ ①	80 cm	76 cm
ろせんず 路線図のフリガナ	無し	無し
てんじょううんちんひょう 点字用運賃表 (別途設置)	あり	あり
インターホン ②	あり	あり
ゆか たか 床からインターホンまでの高さ	126 cm	120 cm
くるま たいおうじどうかいさつき 車いす対応自動改札機	1機あり	1機あり
てんじ ゆうどう いろ 点字ブロック・誘導ブロック (色)	あり (黄色)	あり (黄色)



②インターホンです。
 かいさつぐち えきいん
 改札口に駅員がい
 ない時に押します。

えきいん じょうじいちめい しはつ じ ほうめん じいこう わかやまほうめん
 ※駅員が常時一名しかおらず、始発から17時までは「なんば方面」、17時以降は「和歌山方面」にいます。

①和歌山方面の券売

機です。車いす
利用者が操作するに
は、高い位置に設置さ
れており、利用できま
せん。



なんば方面の券売機です。

和歌山方面と同じく車いす
利用者が操作するには、高い位置
に設置されているため利用する
ことができません。またタッチパ
ネルになっており、障害によっ
ては、押すことが難しいです。



■ トイレ周辺

項目	和歌山方面
③ 車いすトイレ	あり
オストメイト付多機能トイレ	無し
車いすトイレの幅	212 cm × 227 cm
④ 床から便座までの高さ	42 cm
⑤ 床から水洗ボタンまでの高さ	80 cm
⑥ 床から洗面台までの高さ	76 cm
触地図 (ピクトグラム)	無し
点字ブロック・誘導ブロックの敷設	あり
点字ブロックの色	黄色



④スタンダードな便器で、ウォシ
ュレットや座位保持をするため
の背もたれがついていません。

※なんば方面には車いすトイレは、設置されていません。



③ 車いすトイレは、既製タ
イプの電動車椅子でも
回転できますが、リクライ
ニングタイプ、電動サッカー
タイプや、ストレッチャー
がたなどの全長の長い
車椅子では、少し狭いかも
し知れません。



⑤ トイレの水洗ボタンとインターホ
ンです。視覚障害のある人は水洗
ボタンとインターホンの点字表記が
ないため、間違えやすいと思います。

■エレベーター&スロープ周辺

項目	なんば方面
扉の幅	90 cm
広さ⑦	140 cm × 140 cm
定員数	11名
ボタン(外)⑧	高さ94 cm / 凹凸有り
ボタン(内)⑨	高さ94 cm / 凹凸有り
開延長ボタン	無し
電光掲示板	有り
音声案内	有り
点字ブロック・誘導ブロックの敷設	有り
点字ブロックの色	黄色

⑦普通型のエレベーターです。
改札階からホーム階を乗降します。エレベーター内は狭いです。

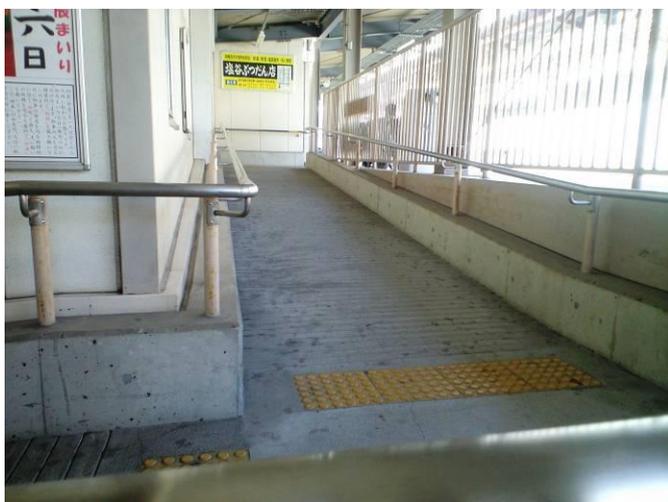


※和歌山方面は改札からホームまでをスロープで乗降します。



⑧エレベーター呼び出しボタンです。凹凸が少しありますがほとんど平面に近いため、視覚障害のある人はボタンの位置が分かりづらいと思います。

⑨エレベーター内の昇降ボタンです。凹凸はほんの少しありますが、ほとんど平面に近いため、視覚障害のある人はボタンの位置が分かりづらいと思います。



和歌山方面の改札階からホーム階をつなぐスロープで、横幅は160 cm とラッシュ時など混雑した場合は車いすが通るには少し狭いです。また、車いすやベビーカー同士がすれ違う場合、すれ違いにくいです。

※和歌山方面については、現在高架工事中で泉大津駅と同時期に高架化になる予定です。

しゅうへん
■ホーム周辺

こうもく 項目	わかやま 和歌山・なんば方面共に
ホーム柵・ホームドア	なし
スロープ板	あり
点字ブロック・ 誘導ブロックの敷設	一部あり ※一番後ろのドアにしか 誘導されていない
点字ブロックの色	黄色



なんば方面側のホームにある
待合室です。誘導ブロックが
敷設されておらず、視覚障害
のある人は待合室の位置を把握
しづらいと思います。

スロープ板を使い
電車に乗っている
ところです。

こんかい ちょうさ かんそう
■今回の調査の感想

これまで泉大津駅、北助松駅と調査を重ねてきましたが、全ての人が利用しやすい駅にはなっていませんでした。事業者の立場からしてみると既存の状態でもある一定配慮されているように思われます。しかし、実際駅を利用し今回調査をした僕としては必ずしも配慮されているとはいえません。

例えば、松ノ浜駅では駅の和歌山方面にしか車いすトイレがなく、なんば方面でトイレを利用したい場合は和歌山方面まで回らなくてはなりません。泉大津駅や北助松駅も同様に一方の改札口にしか車いすトイレが設置されていない状態で、とても不便です。

このような状況があっても、住みやすい街に変えていくためには、障害者一人ひとりが積極的に外出し、不便だと感じたことをその場で駅員に伝えたり、社会に現状を訴えていく必要があります。

＜今後の取り組み＞

今後南海本線沿線の全駅を調査し問題点などを皆さんにお伝えすると共に南海電鉄に問題提起をしていきたいと思います。その地域にある障害当事者団体と情報を共有し南海電鉄と共に誰もが利用しやすい駅を目指していくためには、まず自分自身がいろいろな障害当事者の人と関わりを持ち、駅を利用する上で何が不便なのかやどのようにしたら不便なく利用できるか等をもっと知っていく必要があるので今年はいろんな人と関わりを持ちたいと思います。今年も皆さんに少しでも役立つ情報を発信していきたいです。

仲間のコーナー

このコーナーはリアルライフを訪れる仲間たちが自由に投稿できるページです！！

役に立つミニ情報や、みんなの活動紹介にお役立てください！

投稿希望のリクエストがあれば、リアルライフ事務局までどんどん応募してくださいね☆

今回は、サークルNO PLANの忘年会企画の投稿です♪

サークル NO PLAN 忘年会!!

皆さん、明けましておめでとうございます。ノープラン/代表の辻田です。



まず、この忘年会は様々な方に参加して頂き、交流してもらえたらという川本さんから

のご提案があり、外部の人にもたくさん声を掛けさせて頂きました。場所は和泉シティプラザの広い一室を借りることにし、料理や飲み物はシティプラザ内のケータリングを注文しました。

当日はみぞれが降るくらい冷え込む日でした。しかし、たくさんご案内をさせて頂いた甲斐もあり、総勢22人の方が参加して下さいました。忘年会が始まると、まずは代表の私が音頭を取り、皆で乾杯をしました。それから、それぞれのテーブルの人同士でお喋りを楽しみました。暫く経つと、ノープランのメンバーとは初対面の方が多かったのですが、皆さんに順番に自己紹介をしてもらいました。自己紹介では名前や出身地だけではなく、今年の

反省や来年の抱負についても話してもらうことにしました。

皆さん、とてもユニークな自己紹介をしていたので、一気に和やかな雰囲気となりました。全員の自己紹介が終わると、何と残り時間がわずか 30分!! 短いながらも後の



時間を存分に楽しんでもらいました。今回は年末のお忙しい中たくさんの方に来て頂き、本当にありがとう

ございました!!ここで少し参加して下さい下さった方々を紹介致しますと、和泉市で障害者の人権活動をしておられる福祉グループクローバーの方や、愛知県から遥々研修にいられた日本福祉大学の学生さんとN P O 法人チャレンジドのスタッフの方には、当日の研修後飛び入り参加を頂きました。このように今回の忘年会は初対面の方でも多くの交流ができ、ノープランのメンバーも皆楽しんでいたので、大成功に終わったかと思えます。今回の忘年会を今後の活動に繋げていけたらと思えます。

本年もどうぞノープランを宜しく願い致します。



もくじ
目次

- 新年のご挨拶 (P.2-3)
- 特集1「韓国仲間の仲間と出会ったあ!!」 (P.4-8)
- 第6回リスペクト研修会 (P.9)
- 特集2「暴れん坊将Kun プロデュース」 (P.10-13)
- 鹿児島県鹿兒島うどん紹介! (P.14)
- 仲間のコーナー (P.15)
- もくじ (P.16)
- 編集後記 (P.16)

へんしゅうこうき
編集後記

皆さんお元気ですか? 寒い日が続いていますが、風邪などはひいていませんか?
さて、激動の2008年も終わり、2009年という新しい年を迎えることができました。今年も精一杯
皆さんにお役に立てる情報を発信していきます。まだまだ未熟な僕ですが、よろしくお願ひします。
私、川本将勝の今年の目標は…「人の輪を大切にす!」です。それは、やはり「人の輪」によって、支えられて
いるからです。今まで結果的に人の輪を壊してしまうことが多かったのですが、今年は本当の意味で「人の輪」を
大切にできるように頑張りたいと思います。

2009年01月24日

By 川本

はっこうにん
《発行人》

かんさいしょうがいしゃていきかんこうぶつきょうかい
関西障害者定期刊行物協会

〒536-0023 大阪府城東区東中浜2-10-13 緑橋グリーンハイツ1F

へんしゅうにん
《編集人》

とくていひえいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人 リアライズ

〒595-0071 大阪府泉大津市助松町1-3-33 エクセラート北助松1階 店舗4

TEL : 0725-22-7716 / FAX : 0725-22-7746

URL : <http://www012.upp.so-net.ne.jp/Realize/>

ていかえん
定価 : 100円